

3 環境分野

人と自然が共生するまち「ながの」

政策1	環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成	p.53
	施策1 低炭素社会の実現	p.53
	施策2 循環型社会の実現	p.54
政策2	自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進	p.55
	施策1 豊かな自然環境の保全	p.55
	施策2 良好な生活環境の保全	p.56

政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

【担当部局】環境部、農林部

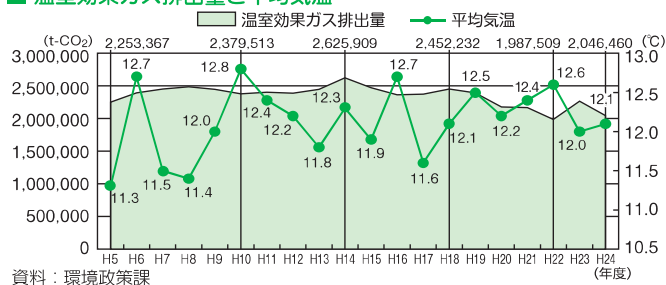
施策1 低炭素社会の実現

環境政策課

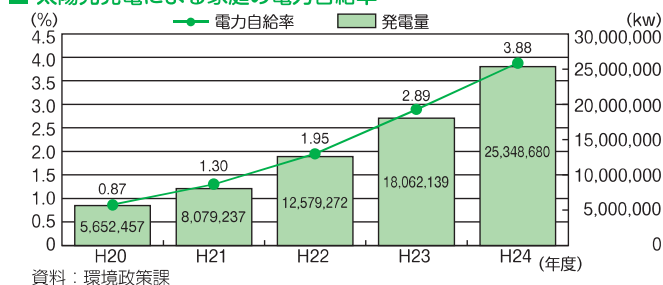
現況と課題

◆地球温暖化の影響が顕在化する中、その要因とされる温室効果ガス[※]を削減するためには、化石燃料[※]から再生可能エネルギー[※]への転換が有効です。市域の約6割を占める森林には森林資源が豊富に存在するものの、間伐[※]材等の木材や燃料としての利用が約4割に留まっていることから、地域固有の木質バイオマスエネルギー資源として活用を促進する必要があります。

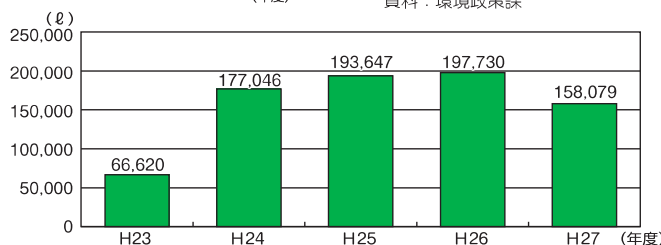
■ 温室効果ガス排出量と平均気温



■ 太陽光発電による家庭の電力自給率



■ 木質バイオマス燃料需要量(灯油換算)



目指す状態

温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少している。

主な取組

- 木質バイオマスエネルギー資源の活用を促進します。(環境政策課、森林整備課)(6-2-3 関連)
- 再生可能エネルギーの適正な活用を促進します。(環境政策課)
- 家庭や事業所等の省エネルギーを促進します。(環境政策課)(7-2-1 関連)
- 森林等によるCO₂吸収を促進します。(森林整備課)(6-2-3 関連)

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	27.4%	↑
太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	43.3%	↑

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
温室効果ガス排出量	各種統計資料の電力使用量や自動車登録台数などのデータを用いて算出した市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量	14.55 kg-CO ₂ (H24)	14.08 kg-CO ₂ 以下
再生可能エネルギーによる電力自給率(発電設備容量)	発電設備容量(①水力・小水力+②太陽光+③バイオマス) / 最大電力需要量	39.1% (H26)	60.0%
木質バイオマス燃料需要量(灯油換算)	間伐材等を活用した木質バイオマス燃料需要量の推計値(①ペレットストーブ設置台数×平均消費量+②市有施設におけるペレット・まき等の購入量+③地域活動等により生産したまき等の販売量(②との重複分を除く))	180,120 ℓ	330,000 ℓ

個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2013、長野市地球温暖化対策地域推進計画、長野市バイオマスタウン構想、長野市森林整備計画

※ 温室効果ガス………地球の気温を上昇させる効果を有する気体のこと。具体的には、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などがある。
 ※ 化石燃料………過去の動植物の遺骸が長い年月の間に地中で変化して生成した燃料のこと。具体的には、石炭、石油、天然ガスなどがある。
 ※ 再生可能エネルギー………自然界で起こる現象から取り出すことができる繰り返し使用可能なエネルギーのこと。具体的には、太陽光、水力、バイオマスエネルギーなどがある。
 ※ 間伐………森林の成長過程で樹木の生長を促進し、日光が入るようにするため、適度な間隔に木を伐採すること。

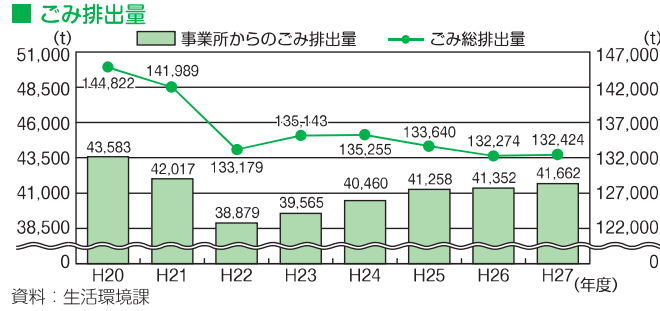
施策2

循環型社会の実現

生活環境課

現況と課題

◆家庭ごみ処理有料化制度^{*}等の導入や地域における資源回収の定着により、ごみ^{*}の総排出量は減少傾向ですが、事業所からのごみの排出量が増加傾向であることから、事業所に対する啓発・指導を強化する必要があります。また、本市や周辺自治体においてごみ焼却施設が老朽化しており、市町村ごとに対応した場合、維持費の増大や事業効率の低下が見込まれることから、関係市町村が連携して広域的なごみ処理体制を構築する必要があります。



目指す状態

市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。

主な取組

- ◎事業所からのごみの発生抑制に向けた啓発・指導を強化します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境政策課)
- ◎家庭等からのごみの発生抑制を促進します。(生活環境課、環境政策課)
- ◎資源の適正かつ有効な利活用を促進します。(生活環境課、環境政策課、廃棄物対策課)
- ◎関係市町村と連携した広域的なごみ処理体制を構築します。(生活環境課)
- ◎ごみの適正処理を推進します。(生活環境課、清掃センター、廃棄物対策課、衛生センター)

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	50.0%	↗
食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	81.7%	→
使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる	62.6%	↗
ごみの分別を徹底している	93.3%	→

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
事業所からのごみ排出量	事業所からのごみ排出量(産業廃棄物を除く)	41,662t	41,538t以下
ごみ総排出量	市民一人一日当たりのごみ排出量	961g	935g以下

個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ21ながの～環境行動計画～ 2013、長野市一般廃棄物処理基本計画

* 家庭ごみ処理有料化制度…「徹底したごみの減量」、「限りある資源の有効活用」、「排出量に応じた公平な負担」を目的として、家庭ごみの処理費用の一部を排出者が負担する制度のこと。

* ごみ………本計画では、家庭から排出されるごみ(資源物を含む)や、し尿、事業活動に伴って生じる廃棄物(産業廃棄物を含む)を総称して「ごみ」と表記している。

政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

【担当部局】環境部、保健福祉部

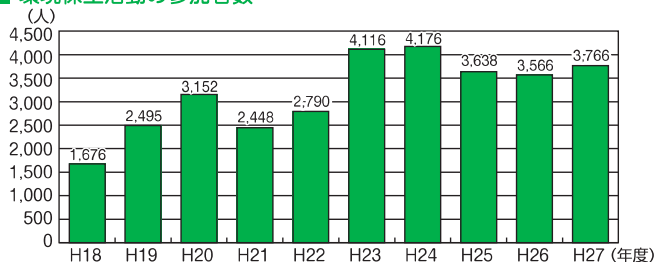
施策1 豊かな自然環境の保全

環境政策課

現況と課題

◆妙高戸隠連山国立公園をはじめ、数多くある魅力的な自然を守るため、市民・地域・事業者・行政が一体となって環境保全活動に取り組んできました。この活動が更に広がるよう、市民一人ひとりが自然と親しみながら理解と関心を深め、多様な担い手による環境保全活動を促進する必要があります。

■ 環境保全活動の参加者数



資料：環境政策課

目指す状態

豊かな自然環境が保たれ、自然と触れ合うことができる。

主な取組

- 地域や事業者等の環境保全活動を促進し、多様な担い手を育成します。(環境政策課)
- 市民一人ひとりの環境保全行動を促す環境教育を推進するとともに、具体的で分かりやすい環境情報を発信します。(環境政策課)
- 地域特有の生態系を保全し、生物多様性を確保します。(環境政策課)
- 国立公園を適正に管理するとともに、利活用を促進します。(環境政策課、観光振興課)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 👤 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ 豊かな自然環境が保たれている	73.6%	➡
👤 自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	50.2%	➡

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
環境保全活動参加者数	ながの環境パートナーシップ会議※の活動への参加者数	3,766人	4,700人

個別計画 第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～ 2013

※ ながの環境パートナーシップ会議…本市において、市民・事業者・行政が連携し、協働の下に環境保全活動を支援する組織のこと。

施策2

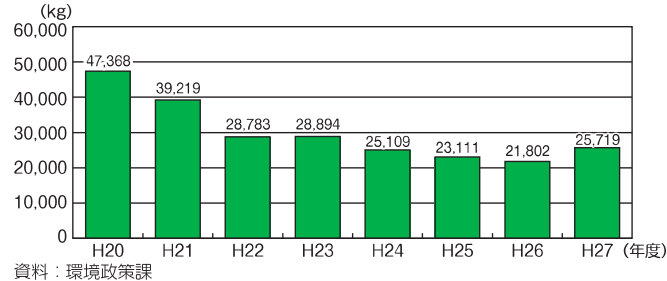
良好な生活環境の保全

生活環境課

現況と課題

◆心地よい暮らしの基盤となる爽やかな空気やきれいな水、清潔なまちなみなど、生活環境は概ね良好に保たれているものの、ごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶たないことから、地域や事業者等の環境美化活動を促進するとともに、捨てられにくい環境づくりを推進する必要があります。

■ ポイ捨て等ごみ回収量



目指す状態

良好な生活環境が美しく保たれている。

主な取組

- ◎ごみのポイ捨てや不法投棄されにくい環境づくりを推進します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境政策課)
- ◎地域や事業者等の環境美化活動を促進します。(環境政策課、生活環境課)
- ◎ごみの不法投棄を早期に発見し、適正に処理します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境政策課)
- ◎環境汚染や生活型公害を未然に防止します。(環境政策課、環境衛生試験所、廃棄物対策課、生活環境課)
- ◎公共用水域における水質汚濁を低減します。(生活環境課、環境政策課、営業課、下水道整備課)

アンケート指標(市民が思う割合)

🏠 環境や体制に関する評価 👤 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
🏠 空気や水がきれい、まちも美しく保たれている	74.1%	➡
👤 地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	48.8%	↩

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
ポイ捨て等ごみ回収量	地域の環境美化活動のごみ回収量	25,719kg	21,500kg 以下

個別計画

第二次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～ 2013